

## ◎伊勢志摩サミット記念館（サミエール） 入館者10万人達成！

10月2日（月）、サミエールの開館からの累計入館者数が、**10万人**を達成しました！



記念すべき10万人目の入館者は、伊賀市からお越しいただいた寺嶋由紀子さん。

認定書と記念品（記念館オリジナルグッズ一式、英虞湾ボーンチャイナプレート、観光パンフレット）が贈られました。

※入館者のカウントは、センサー（1通過1カウント）で行っています。

### 10月の企画展示は鳥羽市！

主催：鳥羽市

内容：海女と真珠のふるさと 鳥羽

期間：平成29年9月30日（土）～10月31日（火）

配偶者プログラムのために作成した特大のウェルカムボードで記念撮影もできます！

## ◎伊勢志摩サミットの経済効果等について

平成28年9月に伊勢志摩サミットの経済効果等の最終試算結果を発表しました。このうち、ポストサミットの経済効果について、試算に使用した諸データの平成28年の実績値が確定したため、三重県では、再試算を行いました。

この結果、平成28年のポストサミットの経済効果（県外観光客数の増加、国際会議の開催件数の増加）は**320.6億円**となりました。

※特に国際会議の開催件数は、目標4件に対して実績17件

また、経済効果以外の効果についても取りまとめました。いくつか例をあげると・・・

### 日本酒

- 国内出荷量は**対前年度比108%**  
（H28年度。三重県酒造組合による）
- 国際ショナルワインチャレンジ「SAKE部門」で**16銘柄が入賞**（去年は8銘柄）

### 農林水産物

- （生産者名等が公表された県産農林水産物）
- 農林水産部が聞き取り調査を行った県内33の生産者団体すべてが**売上向上や販路開拓等プラスの効果があったと回答**

### グローバル教育

- 海外留学や海外研修等に参加した高校生は、**平成27年度は350人、平成28年度は457人と増加**

### 各市町

- 各市町においても、伊勢志摩サミットを契機とした取組を数多く実施
- 伊勢志摩サミットをきっかけに**清掃・飾花活動が拡大した事例もあり**

詳細はこちら。<http://www.pref.mie.lg.jp/SUMMIT/HP/m0138500017.htm>

今後もポストサミット事業にしっかりと取り組み、伊勢志摩サミットのレガシー（資産）を三重の未来に生かしていきます。

## ◎カナダでのジュニア・サミット開催を要望しました

10月2日（月）、鈴木知事が堀井巖外務大臣政務官に、カナダでのジュニア・サミット開催を働きかけていただくよう、要望を行いました。

2018年のG7サミットはカナダのケベック州にある「シャルルボア」で開催されます。伊勢志摩サミットの前月に桑名市で開催されたジュニア・サミットは、貴重な次世代育成の場となりました。

また、9月に鈴木知事がカナダを訪問した際、トルドー首相が青少年担当大臣を兼務され、青少年育成に熱心に取り組んでおられるとお聴きました。

残念ながら今年のイタリアではジュニア・サミットは開催されませんでした。ぜひともカナダでは開催いただきたいということで、今回要望を行うこととなりました。

カナダでの開催により、改めてジュニア・サミットの認知度が高まるとともに、直近の開催地である三重県・桑名市の認知度・国際会議開催地等としての存在感が高まるなど、三重県にとってもメリットがあります。

これからも、様々な働きかけを行っていきます。



堀井外務大臣政務官に要望を行う鈴木知事